

アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）に気付き、意識しよう

アンコンシャス・バイアスとは、無意識の偏った物の見方のことで、「無意識の偏見」「無意識の思い込み」ともいわれます。アンコンシャス・バイアスは、日常に溢れていて、誰にでもあるものです。過去の経験や見聞きしたことに影響を受けて自然に培われていくため、アンコンシャス・バイアスそのものに良い悪いはありません。しかし、アンコンシャス・バイアスに気付かずにいると、そこから生まれた言動が知らず知らずのうちに相手を傷つけたり、自分自身の可能性を狭めたりするなど、さまざまな影響があるため注意が必要です。

アンコンシャス・バイアスの例

- ・ 「普通は〇〇だ」という言葉を使う
- ・ 性別や世代、学歴などで相手を見る
- ・ 性別で任せる仕事や役割を決めている
- ・ 「親が単身赴任中」と聞くと、父親を思い浮かべる
- ・ DVと聞くと、被害者は女性だと思う など



自分自身の思い込みや偏見に気付くことが、多様性を認め合う社会への第一歩です。